



麻布幼稚園だより

令和 4 年 1 月 号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

明けましておめでとうございます。2022年、令和4年が始まりました。今年は「寅年」。「寅」には、「慎む」「手を合わせる」「協力する」「助ける」という意味があるそうです。年頭にあたり、よいことは慎んで継承し、惰性や停滞、怠慢はないかを日々振り返りながら、保護者・地域の皆様、近隣の小中学校と連携し、教職員一同力を合わせて教育活動を進めて参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1年の始まりの1月は、今年度の締めくくりの3学期の始まりでもあります。昨年末12月には、「学校評価アンケート」へのご協力をありがとうございました。学校運営協議会の皆様からのご意見もいただきながら、今年度の取組を振り返り、次年度の教育課程につなげていきます。学校評価についての報告は、今年度中にお示しいたします。

各学年では子供たちの育ちを振り返り、保護者の皆様とお子さんの成長を共有し、一人ひとりの自信を高め、進級・進学へとつなげていきたいと思っています。

どんなに小さなことでも、自分で考え、自分で決めて行動することは、うまくいってもいなくても、次への意欲や責任感につながります。また、日常のどんなに小さなことでも、毎日繰り返すことは、習慣となりその人の当たり前となっていくと思います。「まだ幼いから」ということはなく、育ちの方向性を見据え、幼児期にこのような構えを身に付けさせるようにしていくことが大切です。

善悪や自分や相手にとってよりよいことは何か、関わる大人自身はどのように考えているのかを伝えていきたいと思っています。そして、どうすればよいか、どうしたいかを子供自身が考え決める時間や機会がもてるようにしたいと思っています。

靴を揃える、自分の使った物は自分で片付ける、何かしてもらった「ありがとう」と伝える、姿勢よく話を聞いたり食事をしたりするなど、日常の中で子供に伝え、実践できるようにしたいと思っています。

ぐんぐんと成長をしている子供たちに合わせ、そのような関りができているかと、大人の関りを振り返ることも必要です。

始業式では子供たちに、相手の顔を見て背筋を伸ばして話を聞くと、しっかりと心まで話が届くことを伝えました。短いけれど大切な3学期を、子供たちと充実させていきたいと思っています。

新型コロナウイルスの感染拡大が心配されていますが、現在のところ幼稚園の取組への変更はありません。引き続き、園内での基本的な感染予防を行っていきます。保護者の皆様には、ご家族の体調の管理・検温等へのご協力をお願いいたします。

